

園長だより

No. 10

2025年6月13日

園長 澄川忠男

◆時の記念日（6月10日）

1920年6月10日に「時の記念日」が制定されたそうです。今から105年前です。最初の「時の記念日」では、正午の瞬間に、東京中で一斉に時報を鳴らしたそうです。正午を告げる大砲のドーンという音にあわせて、みんなで鐘をたたき、汽笛を鳴らすということをやったそうで、その瞬間に東京が「響きの都」になったという記録が残っているそうです。

本園では、お話をしたり、腕時計を作ったり、大きめの自分の時計を紙皿で作ったりしていました。余談ですが、「時」というのは何なのか？不思議です。私は、子どものころ「タイムマシン」の話が大好きで、SFをよく読んでいました。そのたびに、「時間」って何なのかを考えていました。今でも、考えることがあります。



◆ドキュメンテーション（活動記録）



本園では、2月からコドモンを試験運用し始めて、4月から本格運用を始めました。保護者のみなさんと園をつなぐ重要なツールであると思っています。保護者のみなさんにとってはいかがでしょうか。

未満児クラス（つぼみ・たんぽぽ）では、毎日の連絡帳のやり取りで家での様子や園での様子をお互いに行き届いていると思います。時々、写真も入れながら、お子様の様子を伝えているところです。以上児クラス（うめ・もも・さくら）では、毎日の連絡帳のやり取りはしてないのですが、必要な連絡などはやり取りをしています。

以前お知らせしたように、6月からは「ドキュメンテーション（活動記録）」の機能を使って、園での様子を写真入りでお知らせすることを、少しずつ始めているクラスもあります。これは、クラスの保護者の方に、「どんな活動をしているのか、その時の子どもたちの様子はどんなのか、どんなことをめざして仕組んでいる活動なのか」などをわかりやすくタイムリーにお伝えするものです。

園としては、ドキュメンテーション（活動記録）を出すために活動しているのではなく、活動の中のいくつかを、コドモンアプリの機能を使って保護者の方と共有し、子どもを真ん中として、より良い方向を目指すことが目的です。国では『こどもまんなか』という言い方をしています。

先ほども書きましたが、未満児クラスと以上児クラスでは、ドキュメンテーション（活動記録）の内容は違うと思いますし、各クラスによっても違うと思います。ドキュメンテーション（活動記録）を出すことや写真を撮ることに注力しすぎて、保育・教育に支障をきたすような本末転倒にならないように、より良い方法を模索しながら、少しずつ取り組んでいこうと思っています。暖かく見守ってください。

◆お母さんではなく「おじいさんといっしょ！」

朝の自由遊びの時間に子どもたちの部屋に行くと、以上児クラスでは、一斉に話しかけてきます。友達が話した話題と同じ話題で「僕ね・・・」と言ったり、それぞれの言いたいことを一斉に言ったりして、聖徳太子ではないので、必死に受け答えしています。未満児クラスでは、おもちゃや本をもって、周りに来て膝の上に乗ってきます。「お母さんといっしょ！」ではなく「おじいさんといっしょ！」の時間です。子どもたちといると笑顔になります。